

# 各単組新執行部 決定!

- 高松市学校職員協議会
  - 会長 那須 将弘 (屋島西小)
  - 事務局長 黒川 幸宣 (牟礼南小)
- 丸亀市教職員協議会
  - 会長 塩崎 太郎 (城南小)
  - 事務局長 相原順之介 (富熊小)
- 坂出市教職員協議会
  - 会長 谷口 翔平 (西庄小)
  - 事務局長 木村 孝 (坂出小)
- 仲多度善通寺市教職員協議会
  - 会長 西村 博文 (満濃南小)
  - 事務局長 河本 彬 (琴平小)
- 三豊観音寺教職員協議会
  - 会長 小野 達朗 (観音寺小)
  - 事務局長 土山 由美 (豊中中)
- 小豆郡教職員協議会
  - 会長 岸田 秀豊 (苗羽小)
  - 事務局長 武部 陽佑 (池田小)
- 大川教職員協議会
  - 会長 平木 義章 (さぬき南小)
  - 事務局長 斉藤 諒太 (造田小)
- 綾歌郡教職員協議会
  - 会長 丸尾 和己 (宇多津北小)
  - 事務局長 松本 美加 (宇多津小)
- 木田郡教職員協議会
  - 会長 池田 道雄 (白山小)
  - 事務局長 上村 勇介 (氷上小)
- 直島町教職員協議会
  - 今年度、直島に会員はいません。

## 第三次中央要請行動

5月20日(月)から21日(火)の2日間、第三次中央要請行動が東京にて行われた。香教連からは、高木委員長と弘瀬副委員長(全日教連専従)が参加した。およそ70名の衆議院議員と参議院議員の方々に要望書を提出した。

要望内容は、

- 一 定数改善・加配措置の拡充
  - 二 教職員の処遇改善
  - 三 働き方改革の推進
  - 四 部活動地域移行
  - 五 教育DXの推進
  - 六 子育て環境の充実
  - 七 教育に係る経費の予算化
  - 八 教育関連法整備
- の8項目についてである。



瀬戸隆一衆議院議員

どの議員の方々も本当に熱心に耳を傾けてくださり、「教育は将来の日本を方向付ける大切な部分だから、教員の処遇改善はもう待たないの」ところまできている。」と述べられた。こういった要望の実現は、本当に時間がかかる。しかしこうして地道に要望を続けていくことで少しずつでも前進していくしかない。また、先の中教審の審議まとめ発表を受けての要請行動であったため、国会議員の方からはもっと現場の声を聞かせて欲しいとの話もあった。

これからも全日教連・香教連は会員の皆様の声を地道に届けていく。



山本博司参議院議員



平井卓也衆議院議員



三宅伸吾参議院議員



大野敬太郎衆議院議員

## 香教連会員の皆様の声を届けてください!

- 学校での困りごと
  - こんな企画してほしい
  - 香教連新聞の意見・感想
  - 制度や法律についての質問
- 何でもかまいません。

下のQRコードを読み取って必要事項を記入して送信してください。

送ってくださった方の中から抽選で、素敵なプレゼントをお送りします。【今月は、「不親切教師のススメ」(松尾英明著)どしどし送ってください。

5月号、「教師のしくじり大全」は、丸亀郡家小、吉田陸斗先生の送らせていただきます。

QRコードを読み取って応募して下さい→→→



教育シンポ



事例集



## 第4回採用試験対策部研修会

5月6日(月)GW最終日、第4回採用試験対策部研修会が香川県教育会館2階会議室にて開催された。

第4回は、香川大学准教授倉野晴代先生を講師に迎え、集団討論、面接について講義をしていただいた。

最初に倉野先生の講義、その後、実践練習を行った。香教連会員の先生方も面接官役になって、部屋の入り方、ノックの仕方、立つ姿勢、服装や目線、声の大きさまで細かいところまで注意したり意識したりできるように助言がなされていた。

15分の時間の中で、意見をまとめ上げていく難しさを感じながら、参加した講師の先生方が粘り強く取り組んでいる姿が見られた。

## 第5回採用試験対策部研修会のお知らせ

日時 令和6年6月22日(土)  
9時から12時  
場所 香川県教育会館 2階会議室  
内容 集団面接対策 講義と演習  
申込み 評議員宛のお知らせプリント参照

### ③新たな級の新設

若手教師へのサポート機能を強化し、諸課題への対応や学校内外との連携・調整機能を充実させるための新たな職を設けることで新たに「級」を創設することが示されています。教諭は2級で、主幹教諭・指導教諭は特2級となっています。この間に新たな級を設ける案が盛り込まれました。東京都では、「主任」という制度が既に設けられています。教務主任や学年主任などベテラン教員が配置される業務にこの昇給制度が当てはまれば、モチベーションの向上にも繋がると考えられます。(下記資料1参照)

### ④学級担任に手当を

学級担任は、子どもたちの学習や学校生活の基盤である学級に関する様々な業務や保護者への連絡・相談対応などに日々取り組んでいます。学級担任をしている教員の方が1日平均1.6時間多く業務をこなしているという結果もあります。その職務の重要性や負荷を踏まえ、現在一律に支給されている義務教育等教員特別手当について見直し、学級担任に手当額を加算する案が示されました。

### ⑤新卒1年目には学級担任以外の業務を

新卒採用者への支援の観点から、新卒1年目は学級担任ではなく教科担任として学級副担任をさせるなど持ち授業時間を軽減する案が示されています。こうした支援が、学校の職場環境を改善し、教員を目指す人材が増えることで教員不足を解消する方策になって欲しいと願います。

## 中教審特別部会「令和の日本型学校教育」を担う 質の高い教師の確保のための環境整備に関する方策について(審議まとめ)

### ①教職調整額の引き上げ

教職員には、残業手当の支給が認められていない代わりに、教職調整額4%が支給されることになっています。これは、企業における残業代と比較すれば、わずかな金額です。時間に換算すれば、1日20分、月8時間分の残業代に相当します。多くの教職員が、月30時間を超えて勤務時間外に働いていることから考えるとあまりにも少ないと言わざるを得ません。今回10%以上の引き上げという数字が出されていますが、まだまだ十分とは言えません。「これでは余計に働かされることに繋がる」や「これでは働き方改革にはならない」、「教員不足は解消されない」などの反対意見もありますが、私たちは教育専門職であるという立場と給付法の基本的な考え方を維持していくという点では高く評価できると考えます。今後も働き方改革や定数改善、処遇改善は一体的に取り組まなければいけない問題です。

### ②小学校教科担任制の拡充

小学校の学級担任を経験された方なら御存知だと思いますが、高学年では理科等の専科教員が授業を行うことが多く、授業時間が数時間軽減されます。ところが、中学年担任、特に4年担任は高学年と授業時数があまり変わらないのに、専科教員が充てられないことが多く、持ち時間が全校で最も多くなっている場合があります。3年生から6年生の専科指導のための教職員定数改善案は、非常に期待の持てる案です。

### 資料1 教育職の級別標準職務

- 1級 小学校、中学校または義務教育学校の講師、助教諭または養護助教諭の職務
- 2級 小学校、中学校または義務教育学校の教諭、養護教諭または栄養教諭の職務
- 新たな級 「主任」
- 特2級 小学校、中学校または義務教育学校の主幹教諭、指導教諭の職務
- 3級 小学校、中学校または義務教育学校の副校長、または教頭の職務
- 4級 小学校、中学校または義務教育学校の校長の職務

## 5月 業務抄

- 2日 丸亀市教職員協議会 定期大会
- 6日 第4回採用試験対策部研修会
- 9日 坂出市教職員協議会 定期大会
- 10日 高松市学校職員協議会 定期大会
- 小豆郡教職員協議会 定期大会
- 木田郡教職員協議会 定期大会
- 12日 全日教連専門部会
- 13日 全日教連 中央要請行動 文科省
- 19日 全日教連 評議委員会
- 20-21日 全日教連 中央要請行動(国会議員)
- 30日 仲多度郡善通寺市教職員協議会 定期大会
- 31日 三豊観音寺教職員協議会 定期大会
- 綾歌郡教職員協議会 定期大会

## 全日教連 専門部会

5月12日(日)9:00より、東京都都市センターホテルにおいて令和6年度全日教連専門部会が開催された。香川県からは幼児教育部に八重彩先生、瀬戸美奈子先生、女性教諭部に高木京子先生が参加した。今年度の活動の方向性と要望内容について活発な意見が交わされた。



## 専従日誌

勇気と知恵と決断により業務改善を 弘瀬 雅一

曇天模様が続く中、色とりどりに咲き誇る紫陽花を見かけると、その生命力溢れる姿に元氣をもらえます。上野恩賜公園は桜や蓮の名所として名高い都市公園ですが、実は紫陽花の名所としても知られています。紫陽花を愛でながらゆったりと散策することは、この時期ならではの楽しみ方ですね。

およそ5年前、「学校・教師が担う業務に係る三分類」が文部科学省より発出されました。「基本的には学校以外が担うべき業務」「学校の業務だが、負担軽減が可能な業務」「教師の業務だが、負担軽減が可能な業務」の三分類に基づく十四の取組が記載されています。皆さんの学校において業務の考え方を明確化したうえで役割分担や適正化の推進状況はいかがでしょうか。恐らく各校によって事情は様々なため、苦慮されていることと思います。

「全国の学校における働き方改革事例集(令和五年三月改訂版)」の前文では「学校の抱える課題の複雑化・困難化が進んでいる中において、業務負担を軽減し、教育の質の向上を図るためには、教師を取り巻く環境を見直し、時代の変化に合わせて学校現場における業務の在り方をリニューアルしていくことが必要です」とあります。

この事例集は児童生徒指導や学習指導等、教師が教師でなければできない仕事に更に適進し、子供たちへの教育充実へとつなげていくためのヒントを模索するために、校内研修等で活用することもできるかと思っています。

最後に令和五年度教文研教育シンポジウム(テーマ・崇高な使命を有する教職の魅力を見直す)において数々の金言を発し、参加者の心を打った戸ヶ崎勤氏(埼玉県戸田市教育委員会教育長)の言葉を紹介します。

「学校として守るべきものは守る、一方でこれまでの慣習にとらわれず、改めるべきものは改める」といった、勇気と知恵と決断により、学校における働き方改革を進めようと、ともにそれぞれの学校運営協議会の議論等から生まれたい好事例が、市内全体へと広がる等、好循環が起ることを期待している」